

---

日本ジオパーク委員会再認定審査の指摘事項に対する

# 男鹿半島・大潟ジオパーク アクションプラン 2022-2025



令和4年8月

男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会

---

# 目 次

## 第1章 アクションプランの策定にあたって

- I アクションプランの位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- II 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

## 第2章 アクションプラン遂行の基本方針

- I 男鹿半島・大潟地域がジオパークで目指す姿・・・・・・・・・・ 2
- II 目指す姿を実現させるための重点項目・・・・・・・・・・・・・・ 2

## 第3章 アクションプラン

- I 課題と目標の整理、年度計画の明示・・・・・・・・・・・・・・ 4
- II 指摘事項に対するアクションプラン・・・・・・・・・・・・・・ 5
  - (1) できるだけ早く改善すべき課題（2年以内）・・・・・・・・・・ 5
  - (2) 中長期的に解決すべき事項・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - (3) 優れている点の向上目標・・・・・・・・・・・・・・ 13
- アクションプラン 2022-2025 一覧表・・・・・・・・・・・・・・ 16

## 第4章 アクションプランの推進体制

- I 協議会構成員の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
  - (1) 行政機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
  - (2) 専門家・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
  - (3) 民間団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
  - (4) ガイド組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
  - (5) 観光商工関係者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
  - (6) 観光施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- II 秋田県ジオパーク連絡協議会との連携・・・・・・・・・・・・・・ 18
  - (1) 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
  - (2) 主な活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- III ジオパーク東北ブロック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- IV アクションプランの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

(参考資料) アクションプラン 2020 一覧表・・・・・・・・・・・・・・ 20

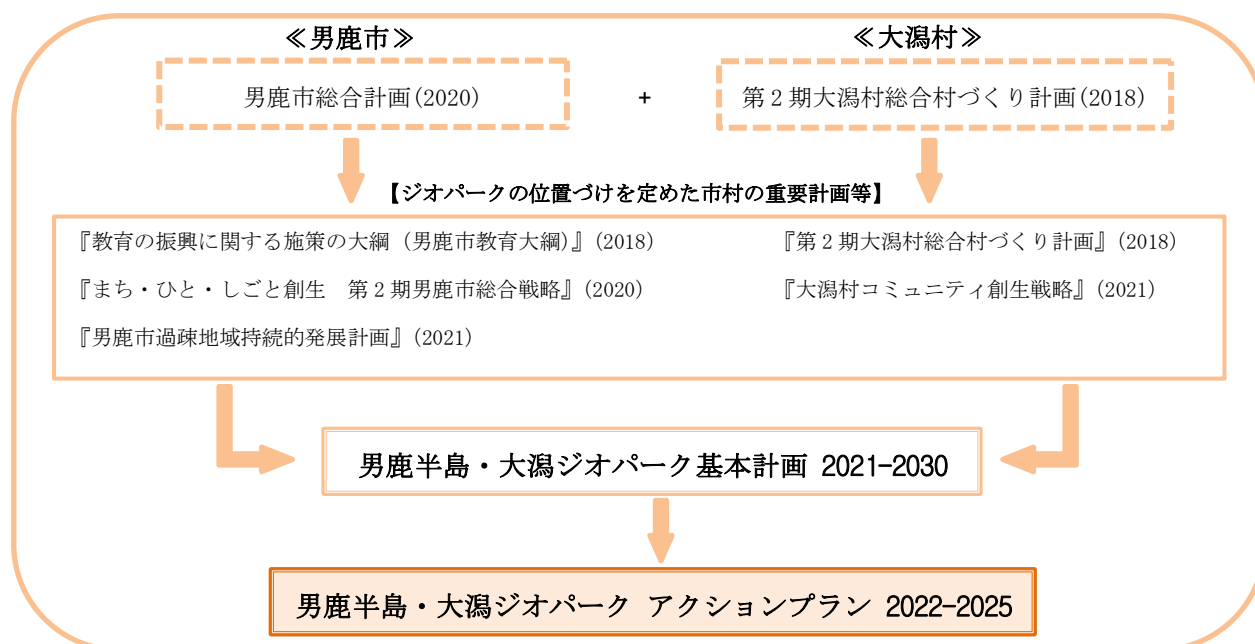
## 第1章 アクションプランの策定にあたって

### I アクションプランの位置付け

平成 23（2011）年に日本ジオパークに認定された当ジオパークは、令和元（2019）年に条件付き再認定となり、令和 3（2021）年に 3 度目の再認定審査を迎えた。

これまでの 2 年間は、令和 2（2020）年 1 月 22 日付で日本ジオパーク委員会より通知のあった「第 38 回日本ジオパーク委員会審査結果報告」で指摘のあった課題等を踏まえ、その解決と更なる発展に向け活動を推進してきた。その 2 年間の活動の成果が認められ、令和 4（2022）年 1 月 28 日に行われた日本ジオパーク委員会において、日本ジオパークとして再認定が認められた。

本アクションプランは、次の 4 年間へ向け、当ジオパークがさらに質の高いジオパークを目指すため、令和 4（2022）年 2 月 17 日付で日本ジオパーク委員会から示された「第 44 回日本ジオパーク委員会審査結果通知書」をもとに策定するものです。また、本アクションプランは当ジオパークを主体的に運営する「男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会」が独自に策定し、『男鹿半島・大潟ジオパーク基本計画 2021-2030』を反映させつつも、その位置づけは男鹿市と大潟村の市村政運営の上に成り立つものであるため、市村の各種計画内容を反映させ、一層の地域活性化を図るべく推進するものです。



第1図 アクションプランの位置付け

### II 計画期間

本アクションプランの計画期間は令和 4（2022）年度～令和 7（2025）年度の 4 ヶ年とする。

## 第2章 アクションプラン遂行の基本方針

### I 男鹿半島・大潟地域がジオパークで目指す姿

#### ～持続可能な社会『あしたにつながる男鹿半島・大潟地域』～

現在、全世界的に人間社会の持続可能性が問題になっています。当地域は全国的に見ても人口減少・少子高齢化が著しく、持続可能な未来のための地域づくりは焦眉の課題です。ジオパークという未利用資源を保全・活用し、成り立ちや特徴の異なる男鹿市と大潟村が連携し、地域の利害関係者が様々な垣根を取り払って新しい協働スタイルを構築することが必要です。

日本ジオパーク委員会から指摘された課題とその解決は、当地域が日本ジオパークとして再出発し、持続可能な社会「あしたにつながる男鹿半島・大潟地域」を目指し、未来を描いていくために欠かせない道筋となります。

当地域の強みである「構成自治体間、構成ガイド間、研究者間、各種関係団体間の密な連携」を活かし、『地域の人による、地域の資源を保全・活用した、持続可能な地域の開発』を実現していきます。

当地域が掲げる「半島と干拓が育む人と大地の物語」というメインテーマのもと、行政区域の垣根を越えた一体感をもち地域の、そして世界の『あした』を考え続けることを目指すべき姿とし、関係者一丸となって推進していきます。

### II 目指す姿を実現させるための重点項目

『男鹿半島・大潟ジオパーク基本計画 2021-2030』において次の5項目を重点項目と位置づけ、活動を推進しています。「ジオパーク」という言葉のもと男鹿市と大潟村が連携し、市村で既存の関係事業を繋げることも、ジオパークだからこそ成し得るものです。これらの取り組みにより、ジオパークでつくる「持続可能な社会『あしたにつながる男鹿半島・大潟地域』」を実現します。

第1表 重点項目

| 項 目          | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 保護・保全      | <p>①地質遺産、自然遺産、文化遺産の保全活動。</p> <p>②関連法令の遵守や啓発、民間百選での選定活動の活用、環境整備事業、サイトカルテを作成し「見える化」による管理等により推進。</p>                                                                                                                                                                                                     |
| 2 観光振興       | <p>①市村一体となり、駅や空港などの県の玄関口にて情報発信するなどあらゆる方面から周知を展開し、来訪者増加に寄与する。</p> <p>②域内ガイド間の情報共有を密にし、研鑽を図るとともにオーダーメイドツアーを主軸に置いたジオツーリズムを推進する。</p> <p>③趣味や特技、方言に至るまで幅広い視点から魅力を発掘し、地域住民も活躍できる場を創出する。</p> <p>④地場製品のブランド力向上とジオパークの理念の共感者増加を図る為、応援商品制度の拡充を図る。</p>                                                           |
| 3 教育・研究      | <p>①教育支援として、学校教員や教育委員会等と協働し、小学校・中学校・高等学校・生涯学習、それぞれに応じた情報提供を行うことや、楽しく、分かりやすく、質の高い体験学習となるよう努める。</p> <p>②学校教育や生涯学習等、幅広くジオパークを教育に活用いただく為、秋田県ジオパーク連絡協議会にて作成した教育利用促進の冊子や各種パンフレット等による情報発信をし、ジオパークの利活用の促進を図る。</p> <p>③学術研究等への支援と受入れの促進を図る為、関連法令の事務手続きが円滑に進められるよう支援するほか、両市村で運用している宿泊助成制度の紹介など利用者の利便性向上を図る。</p> |
| 4 防災・減災      | <p>①災害の記録を伝承する自然災害伝承碑を防災教育へ活用し、防災・減災意識の向上を図るとともに、日本ジオパークネットワーク内において情報発信し、登録促進及び普及啓発を図る。</p> <p>②市村の危機管理所管と連携し、ハザードマップを用いた活動を展開し、災害時に命を守る行動がとれるよう啓発活動を推進する。</p>                                                                                                                                        |
| 5 利害関係者の参画促進 | <p>①上記4項目を解決すべく、共に考え続ける仲間づくりを推進する。</p> <p>②「地域住民」「地元企業」「研究者」「行政」に加え、意欲のある担い手の積極的な参画を促す体制を構築する。</p> <p>③情報発信の強化による交流人口や関係人口の拡大を図り、ジオパークの理念に共感し、協働いただく利害関係者の参画促進を図る。</p>                                                                                                                                |

## 第3章 アクションプラン

### I 課題と目標の整理、年度計画の明示

「第44回日本ジオパーク委員会審査結果通知書」から【今後の課題・改善すべき点】を抜粋し、「当地域が解決する課題」と位置づけ、実施内容と年度計画を明記する。また、【優れている点】も抜粋し、優れている点をさらに向上させる取り組みを「当地域が独自に推進する目標」と位置づけ、向上目標と年度計画も併せて明記する。

課題の整理に際しては、『男鹿半島・大潟ジオパーク基本計画 2021-2030』及び『アクションプラン 2020 男鹿半島・大潟ジオパーク』をもとに、次の通り区分を作成し、分類した上でアクションプランを示す。

第2表 アクションプランの区分

| 区 分         | 内 容                                                                           |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 【A】基本情報整理   | ジオサイトや自然サイト、文化サイトの考え方や位置づけ等、基本的情報の整理に関する事項                                    |
| 【B】情報発信     | 公式ホームページ、各種案内板、携帯アプリ、パンフレット等の情報発信に関する事項                                       |
| 【C】保護・保全    | サイトカルテの作成や環境整備事業、国定公園の管理者との連携等、保護・保全に関する事項                                    |
| 【D】教育・研究    | 拠点施設（男鹿市ジオパーク学習センター、大潟村干拓博物館）における教育旅行や校外学習、生涯学習等の利活用を促す活動及び学術研究等、調査・研究を支援する事項 |
| 【E】組織運営     | ジオパークの管理運営体制に関する事項                                                            |
| 【F】ガイド活動    | ガイド活動、担い手の育成、スキルアップ等に関する事項                                                    |
| 【G】基本計画     | 基本計画の策定、更新に関する事項                                                              |
| 【H】観光振興     | 保全と活用のバランスを考慮した持続可能な観光振興を図る為のジオツーリズム推進に関する事項                                  |
| 【I】利害関係者の参画 | 持続的なジオパーク活動を推進する為、ジオパークの理念に共感し、協働いただける多様なステークホルダーの参画を促す事項                     |

## II 指摘事項に対するアクションプラン

第3章 Iにおいて記載した位置づけにてアクションプランを明記する。項目は「できるだけ早く解決すべき課題 (2年以内)」「中長期的に解決すべき事項」「優れている点の向上目標」の3つに分類している。尚、事業名の「K」は課題を、「M」は目標を意味し、番号は『アクションプラン 2016 男鹿半島・大潟ジオパーク』及び『アクションプラン 2020 男鹿半島・大潟ジオパーク』からの連番である。

### (1) できるだけ早く解決すべき課題 (2年以内)

| 事業名  | K-15                                                                                                                                                                                                                   | サイトカルテの完成                                                                       |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 区分   | 【C】保護・保全                                                                                                                                                                                                               |                                                                                 |
| 指摘事項 | 作成中のサイトカルテを完成させる必要がある。その中で、 <u>大潟村干拓地について、具体的に何を保全すべきなのか検討</u> すべきである。                                                                                                                                                 |                                                                                 |
| 改善方針 | <p>サイトカルテ（ジオサイト・自然サイト・文化サイト）を完成させ、各サイトの保全に活用する。</p> <p>大潟村干拓地の保全対象を検討し、持続的に保全・活用できるよう整理する。</p>                                                                                                                         |                                                                                 |
| 実施内容 | <p>① サイトリストにリンクする形でサイトカルテ（ジオサイト、自然サイト、文化サイト）それぞれの情報を整理し、各分野の専門家から助言をいただきカルテを作成する。</p> <p>② 大潟村干拓地の保全対象を検討し、専門家やガイド団体から助言をいただき持続的に保全・活用できる体制を構築する。</p> <p>③ サイトカルテの定期更新を他ジオパークの情報収集の上検討し、各サイトを持続的に保護・保全する為の体制を構築する。</p> |                                                                                 |
| 年度計画 | 令和4年度                                                                                                                                                                                                                  | <p>① サイトカルテ（ジオサイト）の作成</p> <p>② 大潟村干拓地の保全対象の検討</p>                               |
|      | 令和5年度                                                                                                                                                                                                                  | <p>① サイトカルテ（ジオサイト）の完成</p> <p>② 大潟村干拓地の保全対象の検討・確定</p> <p>③ サイトカルテの定期更新の仕組み作り</p> |
|      | 令和6年度                                                                                                                                                                                                                  | <p>① サイトカルテ（自然サイト）の完成</p> <p>③ サイトカルテの定期更新の仕組み作り</p>                            |
|      | 令和7年度                                                                                                                                                                                                                  | ① サイトカルテ（文化サイト）の完成                                                              |

| 事業名  | K-16                                                                                                                                                   | 新たなジオパークエリアの周知                                 |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 区分   | 【B】情報発信                                                                                                                                                |                                                |
| 指摘事項 | 野外の総合案内板、パンフレットなどの地図の <u>ジオパークの境界を海域を含めた新たな境界に入れ替えていくべきである。</u>                                                                                        |                                                |
| 改善方針 | 総合案内板やパンフレット等の地図を新たなジオパークエリアに更新し、周知を図る。                                                                                                                |                                                |
| 実施内容 | <p>❶令和3年度に水島を含めた島や岩石景観を保護・保全の対象とする為、男鹿国定公園の普通地域（海域部分）をジオパークエリアに加え、エリア拡大した。まずは、新たなエリアを各種パンフレット、公式ホームページ等で周知し、可視性を高める。</p> <p>❷総合案内板の地図を更新し、可視性を高める。</p> |                                                |
| 年度計画 | 令和4年度                                                                                                                                                  | ❶公式ホームページ及び各種パンフレットの更新                         |
|      | 令和5年度                                                                                                                                                  | <p>❶公式ホームページ及び各種パンフレットの更新</p> <p>❷総合案内板の更新</p> |



## (2) 中長期的に解決すべき事項

| 事業名  | K-17                                                                                                                                                                                                                             | 保全計画の立案・作成                         |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 区分   | 【C】保護・保全                                                                                                                                                                                                                         |                                    |
| 指摘事項 | 完成させたサイトカルテに基づいて保全計画の立案を行っていただきたい。                                                                                                                                                                                               |                                    |
| 改善方針 | サイトカルテに基づいて保全計画を立案し、作成する。<br>サイトカルテを活用し、持続的に各サイトを保全・活用できる体制を構築する。                                                                                                                                                                |                                    |
| 実施内容 | <p>① サイトカルテに基づき、各専門家から助言をいただいた上で保全計画の立案・作成を行う。作成に際し、事前にサイトカルテの完成（K-15）が必要であるが、サイトカルテ（ジオサイト）が完成した後に着手し、令和7年度の完成を目標とする。</p> <p>② サイトカルテを活用し、持続的に各サイトを保全・活用できる体制を構築する。この点においても各専門家からの助言をいただくとともに、ガイド団体や男鹿国定公園の管理者等と協働で仕組みを構築する。</p> |                                    |
| 年度計画 | 令和4年度                                                                                                                                                                                                                            | ① サイトカルテ（ジオサイト）の作成                 |
|      | 令和5年度                                                                                                                                                                                                                            | ① サイトカルテ（ジオサイト）の作成<br>② 保全計画の立案・作成 |
|      | 令和6年度                                                                                                                                                                                                                            | ② 保全計画の立案・作成                       |
|      | 令和7年度                                                                                                                                                                                                                            | ② 保全計画の立案・作成                       |

| 事業名  | K-18                                                                                                                                                                          | 鯨骨コンクリーションの研究と保全                                                        |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 区分   | 【D】教育・研究                                                                                                                                                                      |                                                                         |
| 指摘事項 | 天然記念物指定に向けた動きが進んでいる鵜ノ崎海岸の鯨骨コンクリーションの研究と保全を進めていただきたい。                                                                                                                          |                                                                         |
| 改善方針 | 域内外の研究者やガイド団体と連携を図り、調査・研究を進め、研究成果の蓄積を図る。<br>天然記念物に指定することで、地質遺産の保全を図る。                                                                                                         |                                                                         |
| 実施内容 | <b>①</b> 秋田県ジオパーク連絡協議会の研究助成事業の利活用を促すなど、研究者等の調査・研究の支援及び受入れを進める。<br><b>②</b> 観光客や学生等が、鯨骨コンクリーションを季節問わず身近に観察できるような普及啓発方法を検討する。<br><b>③</b> 県の天然記念物指定を目標に、情報整理を進め、文化財保護法による保全を図る。 |                                                                         |
| 年度計画 | 令和4年度                                                                                                                                                                         | <b>①</b> 調査・研究の支援と研究成果の蓄積<br><b>②</b> 普及啓発方法の検討                         |
|      | 令和5年度                                                                                                                                                                         | <b>①</b> 調査・研究の支援と研究成果の蓄積<br><b>②</b> 普及啓発方法の検討<br><b>③</b> 県の天然記念物指定準備 |
|      | 令和6年度                                                                                                                                                                         | <b>①</b> 調査・研究の支援と研究成果の蓄積<br><b>③</b> 県の天然記念物指定準備                       |
|      | 令和7年度                                                                                                                                                                         | <b>①</b> 調査・研究の支援と研究成果の蓄積                                               |

| 事業名  | K-19                                                                                                                                                 | 秋田駅でのジオパークの可視性向上         |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 区分   | 【B】情報発信                                                                                                                                              |                          |
| 指摘事項 | 男鹿半島・大潟ジオパークの入口となる秋田駅でのジオパークの可視性の向上に向けて、関係者との協議を続けるべきである。秋田県ジオパーク連絡協議会を通じて、秋田県の協力も得て、秋田駅でのジオパークの可視性の向上を図っていただきたい。                                    |                          |
| 改善方針 | 秋田県ジオパーク連絡協議会や秋田県の協力のもと、ジオパークの可視性向上を図る為の周知方法を検討する。                                                                                                   |                          |
| 実施内容 | <b>①</b> 秋田県内ジオパークの玄関口となる秋田駅において、ジオパークの可視性向上を図るべく、効果的な方法を検討の上、情報整理する。<br><b>②</b> 案内看板や各種パンフレットの設置など、秋田県ジオパーク連絡協議会や秋田県の協力のもと、各ジオパークへの動線を構築できるよう周知する。 |                          |
| 年度計画 | 令和4年度                                                                                                                                                | <b>①</b> 可視性向上の情報整理      |
|      | 令和5年度                                                                                                                                                | <b>①</b> 可視性向上の情報整理      |
|      | 令和6年度                                                                                                                                                | <b>②</b> 秋田駅へ案内看板や広告物の設置 |

| 事業名  | K-20                                                                                                                                                                                                       | 文化遺産の活用と保全                                            |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 区分   | 【A】基本情報整理／【C】保護・保全                                                                                                                                                                                         |                                                       |
| 指摘事項 | 有形無形の文化遺産をジオストーリーに組み込み、包括的に地質遺産、文化遺産を語り、ジオパークとして文化遺産を活用・保全していく展開を期待する。                                                                                                                                     |                                                       |
| 改善方針 | ジオパークとして文化遺産を保全・活用すべく、専門家から助言をいただき情報整理の上、サイトリスト（文化サイト）を作成し、ジオストーリーに組み込むとともに保全体制の強化を図る。                                                                                                                     |                                                       |
| 実施内容 | <b>①</b> 専門家から助言をいただきながら、文化遺産の情報を整理する。<br><b>②</b> 県文化財所管課と保全に関するパートナーシップ協定を締結し、文化財保護管理指導員と情報共有を図り、有事の際は迅速に対応できるようにする。<br><b>③</b> サイトカルテ（文化サイト）を作成・活用し、保全体制の強化を図る。<br><b>④</b> 整理した情報をもとに新たなジオストーリーを構築する。 |                                                       |
| 年度計画 | 令和4年度                                                                                                                                                                                                      | <b>①</b> 文化遺産の情報整理                                    |
|      | 令和5年度                                                                                                                                                                                                      | <b>①</b> 文化遺産の情報整理<br><b>②</b> 県文化財所管課とのパートナーシップ協定の締結 |
|      | 令和6年度                                                                                                                                                                                                      | <b>①</b> 文化遺産の情報整理                                    |
|      | 令和7年度                                                                                                                                                                                                      | <b>③</b> サイトカルテ（文化サイト）の作成<br><b>④</b> 新たなジオストーリーの構築   |

| 事業名  | K-21                                                                                                                                                                                                                                                             | 人材育成と長期的な運営体制の確保                                                          |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 区分   | 【E】組織運営／【F】ガイド活動                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                           |
| 指摘事項 | 継続的に専門員を確保し、市役所・役場での人材の育成を進め、長期的にジオパークが発展していける運営体制を確保していただきたい。そのためには、ガイド、アドバイザーなどジオパーク活動を担う次世代の人材を発掘する必要がある。                                                                                                                                                     |                                                                           |
| 改善方針 | <p>情報の蓄積と円滑な引継ぎ、異動先における普及啓発活動等、人事異動に左右されない運営体制を構築する。</p> <p>ガイド養成講座を継続的に実施し、次世代の人材を発掘するとともにガイド組織運営力の向上を図る。</p> <p>関係者や関係機関からの人材紹介等による次世代のアドバイザーの発掘を進め、持続的なアドバイス体制を構築する。</p>                                                                                      |                                                                           |
| 実施内容 | <p>① JGNやJGC主催の研修会や全国大会等へ積極的に参加し、最新情報の蓄積と情報共有を継続的に行う。</p> <p>② 継続的にガイド養成講座を運営し、次世代の人材を発掘する。持続的に講座を運用する為、ガイド団体及びアドバイザーと協働で業務の効率化及び情報共有を図りながら実施していく。開催日は、休日開催や平日開催など、ガイド依頼件数等分析した上で運営する。</p> <p>③ 協議会アドバイザーや秋田県ジオパーク連絡協議会、研究機関、JGNからの人材紹介等による次世代アドバイザーの発掘を進める。</p> |                                                                           |
| 年度計画 | 令和4年度                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>① 各種大会、研修会等への参加による職員研修</p> <p>② 新規ガイド養成講座</p>                          |
|      | 令和5年度                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>① 各種大会、研修会等への参加による職員研修</p> <p>③ 次世代アドバイザーの担い手発掘</p>                    |
|      | 令和6年度                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>① 各種大会、研修会等への参加による職員研修</p> <p>② 新規ガイド養成講座</p> <p>③ 次世代アドバイザーの担い手発掘</p> |
|      | 令和7年度                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>① 各種大会、研修会等への参加による職員研修</p> <p>③ 次世代アドバイザーの担い手発掘</p>                    |

| 事業名  | K-22                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 住民参画の仕組み構築                                                          |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 区分   | 【G】利害関係者の参画                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                     |
| 指摘事項 | ガイド団体以外で、住民がジオパークの活動や運営に関われるような組織や仕組みを立ち上げる検討を行っていただきたい。                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |
| 改善方針 | <p>応援商品制度の充実を図り、ジオパークの理念に共感し、地場産品のブランド力向上を図りたい企業・団体・個人の参画を促進する。</p> <p>地域住民がジオパーク活動や運営に継続的に関われる仕組みづくりを検討する。</p>                                                                                                                                                                       |                                                                     |
| 実施内容 | <p>①応援商品制度の周知の拡大により、申請者の参画を促進する。また、ジオパークの理念に共感する地域住民の増加に寄与することで、主体的にジオパーク活動を推進していただけるよう制度設計する。</p> <p>②ジオパーク応援団等、他ジオパークの事例を情報収集し、地域の特性にあった仕組みづくりを検討する。その際、専門家等から助言をいただき、継続的な仕組みができるよう留意する。</p> <p>③住民参画の仕組みを構築するには、地域住民の理解が必要不可欠となる。その為、広報誌や公式HPにおける情報発信など、住民の理解を深める取り組みを持続的に進める。</p> |                                                                     |
| 年度計画 | 令和4年度                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>①応援商品制度の充実・参画促進</p> <p>③住民の理解を深める取り組み</p>                        |
|      | 令和5年度                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>①応援商品制度の充実・参画促進</p> <p>②住民参画の仕組みづくりの検討</p> <p>③住民の理解を深める取り組み</p> |
|      | 令和6年度                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>①応援商品制度の充実・参画促進</p> <p>②住民参画の仕組みづくりの検討</p> <p>③住民の理解を深める取り組み</p> |
|      | 令和7年度                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>①応援商品制度の充実・参画促進</p> <p>②住民参画の仕組みづくりの検討</p> <p>③住民の理解を深める取り組み</p> |

| 事業名  | K-23                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 持続可能な開発政策の整理と世界的課題への活動                                                                                                 |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 区分   | 【D】教育・研究                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                        |
| 指摘事項 | 地域の持続可能な開発、開発政策・戦略におけるジオパークの役割を改めて整理するとともに、申請時期にはあまり認識されていなかった、気候変動や海洋プラスチックゴミ問題などの世界的課題について、若い世代を巻き込んだ活動を検討していただきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                        |
| 改善方針 | SDGs の普及啓発を図るとともに、気候変動や海岸漂着ゴミ問題など世界的課題に貢献できるような教育プログラム等を作成し教育活動に活用する。<br>域内の小学校と協働で、海岸清掃を行う際に、海の豊かさを守る重要性についての教育活動を含めて活動する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                        |
| 実施内容 | <p>①域内の広報を活用し、地域住民に SDGs の考え方を広く知ってもらい、生活の中でも取り入れ、身近な取り組みから始めてもらうための意識醸成を図ることを目的とした「SDGs 通信」という連載を始める。</p> <p>②SDGs に関する教育プログラムを整理・開発・発信し教育活動に活用する。</p> <p>③域内の学校と協働で、海岸清掃を行う。その際、マイクロプラスチック等海岸漂着ごみについて国別や種類などのテーマ設定をしながら、環境教育を行う方法も検討する。また、男鹿市は次世代エネルギーパークであり、風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーについても多くの若者に関心を持ってもらえるよう発信していく。</p> <p>④海岸漂着ごみ等の研究成果を蓄積し、環境教育に活用する為、秋田県ジオパーク連絡協議会の研究助成事業等の利活用を促進する。</p> <p>⑤寒風山の山焼きを通し、地域住民や研究者、市が一体となり、貴重な草原を保全し、生物多様性を維持し、陸の豊かさを守る活動を行う。</p> |                                                                                                                        |
| 年度計画 | 令和4年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p>①広報にて SDGs 通信の連載</p> <p>②SDGs 関連の教育プログラムの整理・開発・発信</p> <p>③域内の学校と協働の海岸清掃</p> <p>④海岸漂着ごみ等の研究成果の蓄積</p> <p>⑤寒風山の山焼き</p> |
|      | 令和5年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ①～⑤継続実施                                                                                                                |
|      | 令和6年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ②～⑤継続実施                                                                                                                |
|      | 令和7年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ②～⑤継続実施                                                                                                                |

(3) 優れている点の向上目標

| 事業名    | M-8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 各種遺産の価値の明確化と保全活動                                                                          |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 区分     | 【H】観光振興／【C】保護・保全／【D】教育・研究                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                           |
| 優れている点 | 専門員を通じた専門家との連携の下、地域の各種遺産の価値の明確化や研究が行われており、国立公園の管理者、住民と連携した保全活動が行われている。                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                           |
| 向上目標   | <p>①地質遺産の価値の明確化を進めてきた寒風山ジオサイトにおける先端技術（VR・AR）を活用した観光コンテンツを整備し、アフターコロナを見据えた新たな観光客層の掘り起こしを進め、観光産業の活性化を図る。</p> <p>②当地域における調査・研究の促進を図る為、専門家との連携や研究助成事業の利活用促進、関連法令の許可申請時の支援、域内宿泊助成事業の紹介等、研究者の支援及び受入を促進し、ジオサイト、自然サイト、文化サイトそれぞれの価値の明確化を持続的に実施する。</p> <p>③国立公園の管理者やガイド団体と連携した保全活動を継続的に実施する。</p> <p>④県文化財所管課と連携して文化遺産の保全活動を推進できるような体制を構築するなど、保全に取り組む活動主体の拡大を図る。</p> |                                                                                           |
| 年度計画   | 令和4年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>①先端技術（VR・AR）を活用した観光コンテンツの整備</p> <p>②持続的な各種遺産の調査・研究の支援及び受入れ促進</p> <p>③各種団体と連携した保全活動</p> |
|        | 令和5年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>②持続的な各種遺産の調査・研究の支援及び受入れ促進</p> <p>③各種団体と連携した保全活動</p> <p>④県文化財保護課とのパートナーシップ協定の締結</p>     |
|        | 令和6年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>②持続的な各種遺産の調査・研究の支援及び受入れ促進</p> <p>③各種団体と連携した保全活動</p>                                    |
|        | 令和7年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>②持続的な各種遺産の調査・研究の支援及び受入れ促進</p> <p>③各種団体と連携した保全活動</p>                                    |



| 事業名    | M-9                                                          | 各サイトのリスク管理マニュアルの更新 |
|--------|--------------------------------------------------------------|--------------------|
| 区分     | 【F】ガイド活動                                                     |                    |
| 優れている点 | ガイド団体が各サイトのリスク管理マニュアルを作成している。                                |                    |
| 向上目標   | ①定期的にマニュアル掲載内容の更新を図り、記載内容と現状に乖離がないよう最新情報にし、ガイド団体においての活用を進める。 |                    |
| 年度計画   | 令和4年度                                                        | —                  |
|        | 令和5年度                                                        | —                  |
|        | 令和6年度                                                        | ①リスク管理マニュアルの更新     |
|        | 令和7年度                                                        | —                  |

| 事業名    | M-10                                                                                                                        | 更なる教育プログラムの開発                   |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 区分     | 【D】教育・研究                                                                                                                    |                                 |
| 優れている点 | 男鹿市ジオパーク学習センターを中心とし、大潟村干拓博物館、さらには秋田大学も協力して教育プログラムの開発が活発で、地球科学、防災教育、環境教育、文化歴史に関する教育など幅広い分野をカバーし、SDGsをも意識した教育プログラムの開発が行われている。 |                                 |
| 向上目標   | ①地域の偉人に関するまんがを作成し、子供たちが郷土の歴史や自らの生き方を学習する機会の拡充を図る。<br>②継続的に教育プログラムを開発し、活用することで、域内外からの学校教育機関や生涯学習目的等、様々な団体を幅広く受入れる。           |                                 |
| 年度計画   | 令和4年度                                                                                                                       | ①地域の偉人まんがの作成<br>②継続的な教育プログラムの開発 |
|        | 令和5年度                                                                                                                       | ①地域の偉人まんがの作成<br>②継続的な教育プログラムの開発 |
|        | 令和6年度                                                                                                                       | ②継続的な教育プログラムの開発                 |
|        | 令和7年度                                                                                                                       | ②継続的な教育プログラムの開発                 |



| 事業名    | M-11                                                                                                                                                                             | 教育旅行等県内外からの受入れ拡大                                            |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 区分     | 【D】教育・研究                                                                                                                                                                         |                                                             |
| 優れている点 | 開発された教育プログラムを生かし、男鹿市ジオパーク学習センターを拠点として秋田県内の野外学習を多数受け入れるなど、教育旅行の受入れに成功している。                                                                                                        |                                                             |
| 向上目標   | <b>①</b> 拠点施設間（男鹿市ジオパーク学習センター・大潟村干拓博物館）の情報共有を密にすることで、教育プログラムの開発のみならず、拠点施設間の訪問者の動線を明確化する。<br><b>②</b> 開発した教育プログラム等の積極的な情報発信により、教育旅行の受入れをはじめとした学校教育機関や生涯学習を目的とした様々な団体の幅広い受入れ拡大を図る。 |                                                             |
| 年度計画   | 令和4年度                                                                                                                                                                            | <b>①</b> 拠点施設間の連携強化<br><b>②</b> 域内外の学校及び教育関係機関・生涯学習団体の受入れ拡大 |
|        | 令和5年度                                                                                                                                                                            | <b>①～②</b> 継続実施                                             |
|        | 令和6年度                                                                                                                                                                            | <b>①～②</b> 継続実施                                             |
|        | 令和7年度                                                                                                                                                                            | <b>①～②</b> 継続実施                                             |

| 事業名    | M-12                                                                                                         | 域内における観光施設等との連携        |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 区分     | 【G】利害関係者の参画促進                                                                                                |                        |
| 優れている点 | 今年からはじまったワンコインガイドを契機として、地域の重要な観光施設である男鹿水族館 GAO および寒風山回転展望台との連携が進み、教育旅行のさらなる誘致に弾みがつくとともに、今後のジオツーリズムの発展が期待できる。 |                        |
| 向上目標   | <b>①</b> 域内の連携が進んだ観光施設のみならず、ジオパークの理念に共感いただけるよう普及啓発を図ることで観光施設や企業・団体等との連携を進め、ジオツーリズムの発展に寄与する。                  |                        |
| 年度計画   | 令和4年度                                                                                                        | <b>①</b> 多様な利害関係者の参画促進 |
|        | 令和5年度                                                                                                        | <b>①</b> 継続実施          |
|        | 令和6年度                                                                                                        | <b>①</b> 継続実施          |
|        | 令和7年度                                                                                                        | <b>①</b> 継続実施          |

第3表 アクションプラン 2022-2025 一覧表

| 項目                  | No.               | 課題と目標                 | アクションプラン                     | 年次計画   |       |       |       |
|---------------------|-------------------|-----------------------|------------------------------|--------|-------|-------|-------|
|                     |                   |                       |                              | R4     | R5    | R6    | R7    |
| 【A】<br>基本情報<br>整理   | K-20              | 文化遺産の活用と保全            | ①文化遺産の情報整理                   |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ②県文化財所管課とのパートナーシップ協定締結       |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ③新たなジオストーリーの構築               |        |       |       |       |
| 【B】<br>情報発信         | K-16              | 新たなジオパークエリアの周知        | ①公式ホームページ及び各種パンフレットの更新       |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ②総合案内板の更新                    |        |       |       |       |
|                     | K-19              | 秋田駅でのジオパークの可視性向上      | ③可視性向上の情報整理                  |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ④秋田駅へ案内看板や広告物の設置             |        |       |       |       |
| 【C】<br>保護・保全        | K-15              | サイトカルテの完成             | ①サイトカルテの作成                   |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ②大潟村干拓地の保全対象の検討・確定           |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ③サイトカルテの定期更新の仕組み作り           |        |       |       |       |
|                     | K-17              | 保全計画の立案・作成            | ④保全計画の立案・作成                  |        |       |       |       |
|                     | K-20              | 文化遺産の保全と活用            | ⑤県文化財所管課とのパートナーシップ協定の締結      |        |       |       |       |
|                     | M-8               | 各種遺産の価値の明確化と保全活動      | ⑥各種団体と連携した保全活動               |        |       |       |       |
| 【D】<br>教育・研究        | K-18              | 鯨骨コンクリーションの研究と保全      | ①調査・研究の支援と研究成果の蓄積            |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ②普及啓発方法の検討                   |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ③県の天然記念物指定準備                 |        |       |       |       |
|                     | K-23              | 持続可能な開発政策の整理と世界課題への活動 | ④広報にてSDGs通信の連載               |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ⑤SDGs関連の教育プログラムの整理・開発・発信     |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ⑥域内小学校と協働の海岸清掃               |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ⑦海岸漂着ごみ等の研究成果の蓄積             |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ⑧寒風山の山焼き                     |        |       |       |       |
|                     | M-8               | 各種遺産の価値の明確化と保全活動      | ⑨持続的な各種遺産の調査・研究の支援及び受入れ促進    |        |       |       |       |
|                     | M-10              | 更なる教育プログラムの開発         | ⑩地域の偉人漫画の作成                  |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ⑪継続的な教育プログラムの開発              |        |       |       |       |
|                     | M-11              | 教育旅行等県内外からの受入れ拡大      | ⑫拠点施設間の連携強化                  |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ⑬域内外の学校及び教育関係機関・生涯学習団体の受入れ拡大 |        |       |       |       |
| 【E】<br>組織運営         | K-21              | 人材育成と長期的な運営体制の確保      | ①各種大会、研修会等への参加による職員研修        |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ②次世代アドバイザーの担い手発掘             |        |       |       |       |
| 【F】<br>ガイド活動        | K-21              | 人材育成と長期的な運営体制の確保      | ①新規ガイド養成講座                   |        |       |       |       |
|                     | M-9               | 各サイトのリスク管理マニュアルの更新    | ②リスク管理マニュアルの更新               |        |       |       |       |
| 【G】<br>基本計画         |                   |                       |                              |        |       |       |       |
| 【H】<br>観光振興         | M-8               | 各種遺産の価値の明確化と保全活動      | ①先端技術(VR・AR)を活用した観光コンテンツの整備  |        |       |       |       |
| 【I】<br>利害関係<br>者の参画 | K-22              | 住民参画の仕組み構築            | ①応援商品制度の充実・参画促進              |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ②住民参画の仕組みづくりの検討              |        |       |       |       |
|                     |                   |                       | ③住民の理解を深める取り組み               |        |       |       |       |
|                     | M-12              | 域内における観光施設等との連携       | ③多様な利害関係者の参画促進               |        |       |       |       |
| 計画予算<br>(単位:千円)     | 男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 |                       |                              | 4,000  | 6,000 | 6,000 | 6,000 |
|                     | 男鹿市               |                       |                              | 24,454 | 9,100 | 9,100 | 9,100 |
|                     | 大潟村               |                       |                              | 1,522  | 2,146 | 2,146 | 2,146 |
|                     | 秋田県ジオパーク連絡協議会     |                       |                              | 1,200  | 1,200 | 1,200 | 1,200 |

## 第4章 アクションプランの推進体制

男鹿半島・大潟ジオパークの理念を追求するため、次のメンバーを軸として運営体制を構築する。特定の専門家個人の資質やパフォーマンスに頼るのではなく、様々な分野から地域振興の鍵となりうる人材を巻き込み、チーム一丸となって地域の持続可能な発展を目指す。

### I 協議会構成員の役割

#### (1) 行政機関（秋田県男鹿市、大潟村）

市村首長の強力なリーダーシップの下で、市村の観光関連部署、教育委員会が主体となり、市村関係部局や県等との連携体制を構築して、ジオパークに関する事業全般のプロモーションを行います。

#### (2) 専門家（地球科学研究者、地学教育専門家、文化財保護審議会委員、防災士）

国立大学法人秋田大学や各研究機関、日本地質学会、秋田地学教育学会、秋田県立博物館、男鹿市危機管理課など、様々な分野の専門家が研究や評価を行い、地質・地形やその他文化的価値の発掘・創出を行います。

#### (3) 民間団体（合同会社あきた地域資源ネットワーク）

行政区にとらわれない、横断的で魅力的な事業展開を図ります。また、当地域の広報や普及啓発、ガイド事業のスキルアップサポート等を行います。

#### (4) ガイド組織（男鹿半島・大潟ジオパークガイドの会／大潟村案内ボランティアの会）

ジオツアーや学習支援等の活動を通じて、ジオパークの魅力を積極的に広めるとともに、自分たちの言葉で地域の素晴らしさを伝えられるよう、日々の研鑽に努めます。また、ガイド組織の持続と自立を図るため、地域に適した運営体制や収益構造を模索します。

#### (5) 観光商工関係者（男鹿市観光協会、商工会、ホテルサンルーラル大潟）

当ジオパークを訪れる方々の観光や宿泊を、観光協会やホテル、商工関係者が支えます。また、地域資源を活かした体験プログラムを企画・実施するなど、より魅力的なジオパークになるよう努めます。

#### (6) 観光施設（寒風山回転展望台、男鹿水族館、生態系公園）

ジオパークの理念への理解を求め、賛同する観光施設の参画を促進します。これにより、様々な年齢層や目的の異なる訪問者のニーズに対応し、連携体制を構築し、エリアでのお客さんの滞留時間の延長を図ります。また、ジオパーク活動の普及啓発やイベント開催にも協力し、パートナー的な役割を果たします。

## Ⅱ 秋田県ジオパーク連絡協議会との連携

### (1) 目的

秋田県の協力のもと県内4ジオパークの連携による情報交換及び連絡調整を行うことによって、相互のジオパーク活動の連携推進と各地域の持続的な発展を目指すとともに、ジオパークの理念を普及啓発する。

### (2) 主な活動

#### ① 専門研究促進事業

学術知見の収集及び学術機関との連携を図ることと業務の効率化として1つの学術部会を設ける為、専門研究統括会の運営、研究助成事業を推進する。

#### ② 普及啓発事業

秋田県内にジオパークの取り組みを広くPRするとともに、秋田県内で新たにジオパークを目指す動きを助長することで、県内におけるジオパークの認知度向上を図る為、子供向けイベント（まるごと体験！あきたのジオパーク）の開催などを推進する。

#### ③ 教育利用促進事業

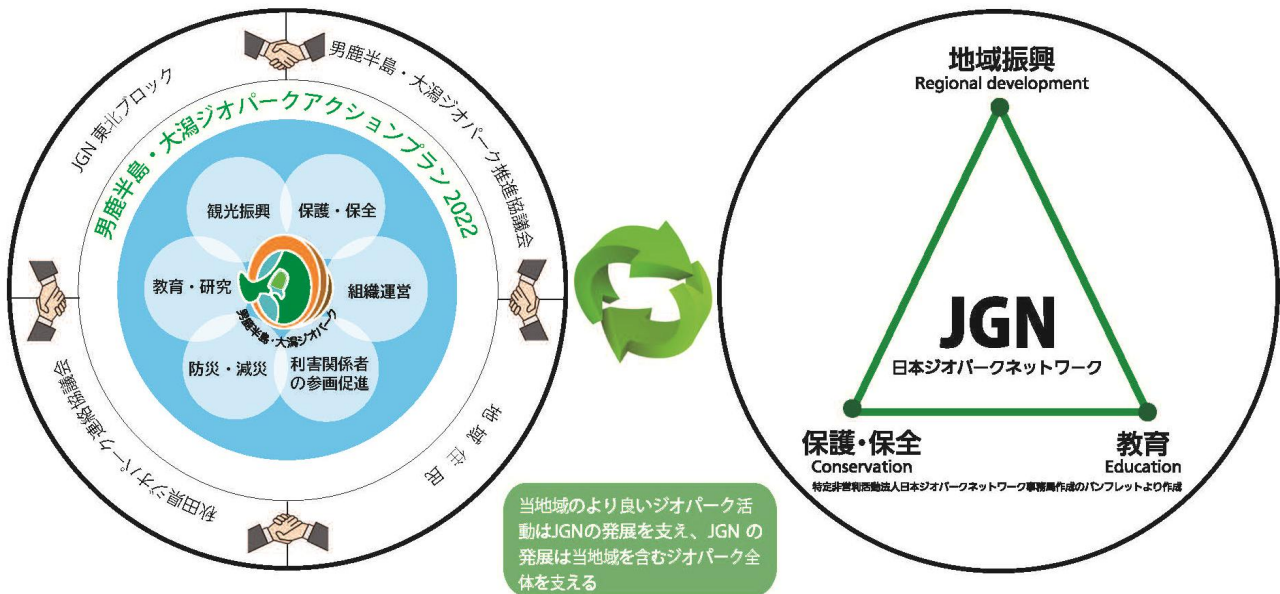
4ジオパーク共同で利用できるジオパーク教材の開発、既存教材の共同利用を促進する。さらに県内の小中学校の理科や社会科、総合的な学習の時間、県や市町村の生涯学習講座としてジオパークが活用されることを目指す。

## Ⅲ 日本ジオパークネットワーク東北ブロック

日本ジオパークネットワークの東北ブロック内9ジオパークが連携し、イベントの開催による普及啓発や全国大会における協働ブース出展等、協働で事業を進め、東北ブロック内のジオパークの普及啓発に寄与する。

## Ⅳ アクションプランの推進

男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会は本アクションプランを活動の指針とし、活動の質を高める事業を推進します。さらに、本協議会のみならず、より広域で運営することで効果的、効率的な事業実施が望める事業については、秋田県ジオパーク連絡協議会、東北ブロックを構成する各ジオパーク、国内ジオパーク等と密な連携を図りながら事業を進めていきます。



第2図 アクションプラン推進概念図



第3図 男鹿半島・大潟ジオパーク組織体制



| 項目              | No. | 課題と目標                           | アクションプラン                                                                                                                           | 年次計画(実績) |        |       |       | 年次計画(案) |       |       |       |
|-----------------|-----|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|
|                 |     |                                 |                                                                                                                                    | H28      | H29    | H30   | R01   | R02     | R03   | R04   | R05   |
| 【A】基本情報整理       | K1  | 拠点施設をジオサイトに含めているため除外            | ①用語使用の精査<br>②他地域の用語使用調査                                                                                                            |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K2  | 「ジオスポット」という用語の使い方の検討            | ③全国の用語使用調査まとめの共有<br>④JGN・JGCとの協議                                                                                                   |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K3  | 「男鹿のまるきぶね」を含めたジオサイト構成資産の検討      | ⑤ジオサイト構成資産検討<br>⑥県ジオパーク研究統括会指導                                                                                                     |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K17 | ジオサイトの古い定義からの更新                 | ⑦ジオサイトの基本情報の再整理                                                                                                                    |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K19 | ジオパークエリアの再検討                    | ⑧島、岩体を含む海域等の設定                                                                                                                     |          |        |       |       |         |       |       |       |
| 【B】情報発信         | K4  | 拠点施設を起点とした各ジオサイトへの導線の明確化        | ①導線明確化へ向けた検討<br>②ホームページのリニューアル                                                                                                     |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K5  | ホームページの充実                       | ③ホームページの積極的更新<br>④他地域リンクの充実                                                                                                        |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K6  | パンフレットの地図の充実                    | ⑤パンフレット等による情報整備<br>⑥拠点施設の積極的周知                                                                                                     |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K7  | 標識等の誘導情報の整備                     | ⑦拠点施設企画展の検討<br>⑧ジオストーリー整備の情報精査                                                                                                     |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K8  | ジオパーク学習センターにおける観光客等の受入態勢改善      | ⑨ジオストーリー整備<br>⑩ジオストーリーの周知                                                                                                          |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K9  | 八郎潟干拓による影響と恩恵に関するジオストーリー整備      | ⑪ジオサイト説明板の維持管理<br>⑫ジオパークアプリによる情報発信                                                                                                 |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K10 | 砂丘列ジオサイトを核とした男鹿半島と大潟を結ぶストーリーの整備 | ⑬ジオパーク商品開発<br>⑭JGN各種大会での周知                                                                                                         |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | M1  | ジオサイト解説板の維持管理(必要に応じた更新)         | ⑮取り組みの公表・発表<br>⑯JGN全国大会の誘致                                                                                                         |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K16 | ネットワークへの貢献                      | ⑰各種大会等の開催、WGへの参加など                                                                                                                 |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K20 | エリア全域の共通情報の提供                   | ⑱拠点施設で共通の解説展示の設置                                                                                                                   |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K11 | 露頭保全における地質学上の模式地周知を含めた能動的活動     | ①模式地に関する情報整理<br>②Web、パンフレット等への情報提示<br>③ジオサイトモニタリングの検討                                                                              |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | M2  | ジオサイトの保全についての推進                 | ④保全に関する情報公開強化<br>⑤法手続きのワンストップ窓口化<br>⑥ジオサイト環境整備                                                                                     |          |        |       |       |         |       |       |       |
| 【C】保全           | K21 | 保全、活用方針の明確化                     | ⑦保全計画の策定                                                                                                                           |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K22 | サイト単位の詳細情報整理                    | ⑧ジオサイトカルテの作成                                                                                                                       |          |        |       |       |         |       |       |       |
| 【D】教育普及         | K12 | 積極的なジオツーリズム(ジオツアー)の推進           | ①ジオツアー催行<br>②モデルコースの充実<br>③観光客ツアーの営業強化                                                                                             |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K13 | 市村一体となったジオツアーや学習会の開催            | ④教育プログラムの充実<br>⑤拠点施設の充実<br>⑥体験学習の充実                                                                                                |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | M3  | 教育的利用の促進                        | ⑦学校教育学習支援の促進<br>⑧地域住民への出前講座<br>⑨ジオパークイベントの開催                                                                                       |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | M4  | 防災教育の充実、スマートフォンアプリの積極的活用        | ⑩県内連携イベントの充実<br>⑪あきたジオパーク大学への協力<br>⑫研究者への支援・協力体制強化                                                                                 |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | M5  | 広域連携事業のさらなる充実                   | ①研究助成事業の充実<br>②県内ガイド共通講座の充実<br>③東北ブロックの円滑運営                                                                                        |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | M6  | 男鹿市・大潟村事務局の円滑運営                 | ④広域連携事業の拡充<br>⑤事務担当会議の開催<br>⑥JGN等各種大会への参加                                                                                          |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K14 | 安定的・継続的な運営体制構築                  | ⑦ジオパーク専任職員の配置                                                                                                                      |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K15 | ジオに精通したチーム作り                    | ⑧自然科学分野の専門員の配置                                                                                                                     |          |        |       |       |         |       |       |       |
| 【E】組織運営         | M7  | ガイド活動のさらなる研鑽と運用・安全対策の強化         | ①新規ガイド養成<br>②既存ガイドスキルアップ講座<br>③県内ガイド共通講座<br>④ガイド依頼募集の積極的周知<br>⑤Webのガイド情報の拡充<br>⑥ガイドの会独自事業の拡充<br>⑦JGN等主催の各種大会への参加<br>⑧認定ガイド団体との合同講座 |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 | K18 | 基本計画の立案                         | ①基本計画の策定                                                                                                                           |          |        |       |       |         |       |       |       |
| 【F】ガイド活動        |     |                                 |                                                                                                                                    |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 |     |                                 |                                                                                                                                    |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 |     |                                 |                                                                                                                                    |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 |     |                                 |                                                                                                                                    |          |        |       |       |         |       |       |       |
| 【G】基本計画         |     |                                 |                                                                                                                                    |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 |     |                                 |                                                                                                                                    |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 |     |                                 |                                                                                                                                    |          |        |       |       |         |       |       |       |
|                 |     |                                 |                                                                                                                                    |          |        |       |       |         |       |       |       |
| 計画予算<br>(単位:千円) |     | 男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会               |                                                                                                                                    | 7,188    | 25,523 | 6,497 | 5,645 | 6,000   | 6,000 | 7,200 | 6,000 |
|                 |     | 男鹿市                             |                                                                                                                                    | 8,953    | 15,237 | 7,638 | 8,466 | 8,828   | 8,828 | 8,912 | 8,828 |
|                 |     | 大潟村                             |                                                                                                                                    | 3,314    | 6,167  | 2,877 | 2,944 | 2,146   | 2,146 | 2,182 | 2,146 |
|                 |     | 秋田県ジオパーク連絡協議会                   |                                                                                                                                    | 1,200    | 1,200  | 1,200 | 1,200 | 1,200   | 1,200 | 1,200 | 1,200 |

参考資料：アクションプラン 2020 一覧表

【参考資料一覧（五十音順）】

大潟村 2018『第 2 期大潟村総合村づくり計画』

大潟村 2021『第 2 期大潟村コミュニティ創生戦略』

男鹿市 2018『教育の振興に関する施策の大綱（男鹿市教育大綱）』

男鹿市 2020『まち・ひと・しごと創生 第 2 期男鹿市総合戦略』

男鹿市 2020『男鹿市総合計画～なまはげの里 夢への挑戦～』

男鹿市 2021『男鹿市過疎地域持続的発展計画』

男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 2019『プロGRESSレポート 2019-2021』

男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 2020『日本ジオパーク委員会再認定審査の指摘事項に  
対するアクションプラン』

男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 2021『男鹿半島・大潟ジオパーク基本計画 2021-2030』

男鹿半島・大潟ジオパーク アクションプラン 2022-2025

発行年月 令和 4 年 8 月

編 集 男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会

〒010-0595 男鹿市船川港船川字泉台 66-1

TEL (0185) 24-9104 FAX (0185) 24-9200

E-Mail [geopark@city.oga.akita.jp](mailto:geopark@city.oga.akita.jp)